

英国のラグビー校来日

日本の文化を体験

都市大等々力中高で交流

ラグビーの起源として有名な英国の名門パブリックスクール・ラグビー校のラグビーチームが来日し、世田谷区等々力8の東京都市大等々力中高の生徒たちと19日、交流した。等々力中高は修学旅行でラグビー校を毎年訪問している。チーム



ラグビー校の選手たち（左）に記念品を手渡す
東京都市大等々力中高の生徒たち—世田谷区等々力8で

の来日は5年ぶり2回目、前回は等々力中高を訪ねて交流した。この日は16、17歳の28人が等々力中高で、日本食や茶道、書道などを体験。両校によるバスケットボールの親善試合もあった。吹奏楽部は「第二の英国国

歌」と呼ばれるエルガーの「威風堂々」第4番を演奏して歓迎。コンサートマスターの3年、岩崎光凌さん（18）は「交流できて、うれしい。おもてなしの心で曲を選んだ」と話していた。ラグビー校のベン・スケイルズ

さん（17）は「日英の文化はかなり違うので、交流をとっても楽しみにしていた」と語った。チームは31日まで日本に滞在し、成蹊高（武蔵野市）や大分舞鶴高（大分市）のラグビー部と対戦する。スケイルズさんは日本代表が昨年のワールドカップで南アフリカに勝ち、今月のリオデジャネイロ五輪（7人制男子）で4位に入ったことを

引き合いに「日本のラグビーも最近強いので、我々も全力で勝ちにいく」と意気込んでいた。

ラグビー校の生徒、ウィリアム・ウェブ・エリス少年が1823年、フットボールのルールを無視して手でボールを持ち、相手ゴールに走り出したという伝説がラグビーの起源とされている。

【早川健人】